

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろかみ学園児童デイサービス事業所		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	勤務年数の長い職員が多いので、保護者様と話しやすい関係性が構築出来ていることです。	保護者様の要望等を職員間で共有するように努めています。	保護者様だけでなく、学校や関係機関等との連携も深められる様取り組みます。
2	活動の内容を毎月チームで話し合い、創意工夫した活動を提供出来ているところです。	活動がマンネリ化しないように、職員ひとり一人がアイデアを出して活動を工夫しています。地域資源を活用した活動を取り入れるようにしています。	利用者様の状況や職員の配置によっては、地域での活動が困難なケースもある為、更なる工夫が必要と考えています。
3	職員間で連携した支援が実施出来ていることです。支援方法について、職員間で話し合いを密にしています。	日々支援の振り返りを行い、次回利用時の支援方法をチームで考え実践しています。	サービス提供日に公休の職員もいるため、情報共有・伝達に遅れが出る場合があります。朝礼や引継ぎノートで確認をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支所の2階を借用してサービス提供を行っていることで、事業所までの階段や廊下が暗いこと、トイレが共有(男性職員が不在の時に、女性職員がトイレ内に入ることが困難)であること等ハード面での課題が多いことです。	建物が借用のため、改善が難しいのが要因です。	男性トイレ以外の共有の場所では職員が一緒に行動し、危険がないよう配慮しています。
2	利用者様の状況や人数によって、発達支援室や個別支援室が狭いと感ずることがあります。	支所の一部を借用していることで、発達支援室等の増設が難しいことが要因です。	長期休暇の時には、他の部屋を借用するなどして活動をしています。地域資源を活用した活動を取り入れて、居室外の活動の機会を増やす工夫をしています。
3	グラウンド等の設備がない為、外遊びの活動内容が制限されることです。	法人の入所施設や児童発達支援センターから離れた場所にあることが要因です。	地域の公園外出を多く取り入れています。また、自転車遊びは、児童発達支援センターのグラウンドで行っています。